

特殊詐欺 急増中!

令和4年中

被害件数 1,074件 被害額 約19.1億円
(前年対比+215件) (前年対比+7.1億円)

【令和4年中の特徴】

「架空料金請求詐欺」及び「還付金詐欺」が大幅に増加しており、この二つの手口による犯行が、全手口の約75%を占めている。

今年さらには被害が増えています。

このサギに注意!

還付金詐欺

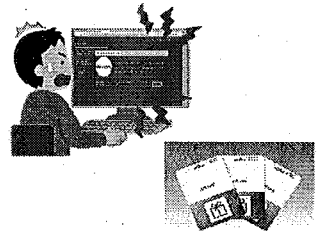
市(区)役所の職員などをかたって「医療費の還付金がある」「ATMで受け取れる」などと嘘の電話をかけてATMに誘導し、高齢者に携帯電話で連絡させた上、嘘のATM操作方法を教えることで、犯人側の口座への振込手続きをさせるもの。



このサギに注意!

架空料金請求詐欺

未払いの料金があるなど架空の事実を口実とし金銭等をだまし取る(脅し取る)もの。とくに、パソコン画面にウイルス警告画面が表示され、記載された電話番号に電話すると、修理費等のサポート費用としてコンビニで〇〇カード等を購入させる「サポート詐欺」が急増中。



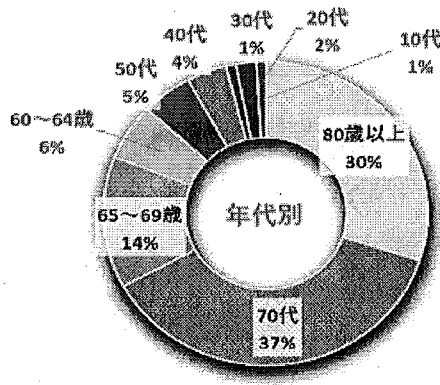
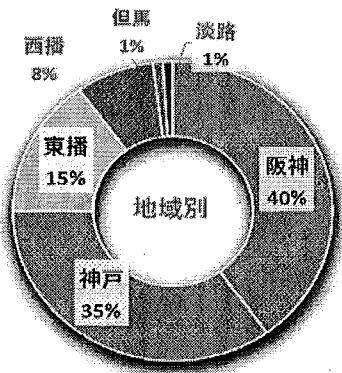
このサギに注意!

キャッシュカード詐欺盗

警察官や銀行協会、大手百貨店等の職員をかたって高齢者宅に電話をかけ、「キャッシュカードが不正に利用されている」等の名目により、キャッシュカード等を準備させた上で、隙を見るなどし、同キャッシュカード等を窃取するもの。



地域別・年代別割合(令和4年)



地域別発生状況

発生状況を地域別にみると、被害の約75%を阪神・神戸地域が占めている。

特殊詐欺被害者の年代別割合
特殊詐欺の被害者は、高齢者(65歳以上)が全体の約80%を占めている。

承認
23.9.16
げやき台自治会

令和5年上半期の被害認知件数は、604件に上り、過去10年間で最多となった令和4年の同時期から5割増となる過去最悪の状況です。

他人事だと思わず、ご自身も被害に遭う可能性がある」と危機感を持って下さい。



学生防犯ボランティア

「ブルーフェニックス隊」



発足しました！

若い力で地域に活力と安心を

令和5年6月24日、学生防犯ボランティア「ブルーフェニックス隊」の発足式を開催しました。今後、県内各地で特殊詐欺などの犯罪を防ぎ、地域の安全安心を守るため、特殊詐欺の防止に関するキャンペーンやATM周辺のお店や住民への協力依頼など、警察官と一緒に様々な防犯活動を行います。見かけたらお気軽に声をかけてください。



そのあなた

「ながら見守り」

はじめてみませんか？

『ながら見守り』は

日常生活を送る中で、防犯の視点を持って子どもたちを見守る活動です。家にいながら、移動しながらなど、何かをしながら少し防犯の意識を持つだけで『ながら見守り』は実施できます。

- ◎『ウォーキング』『ジョギング』をしながら
- ◎『買い物』をしながら
- ◎『犬の散歩』をしながら
- ◎『通勤』をしながら
- ◎『農作業』をしながら など

地域の絆でまちづくり